英検2級 完全オリジナル予想問題 第4回

解説

リーディング31問の正答根拠・長文全文の日本語訳・ライティング模範解答を収録。

大問1 短文の語句空所補充

（1）正答 1 古い手紙を扱えなくなる前にデジタル化するので digitize。

（2）正答 1 薬の配送が遅れたことを謝罪するので delay。

（3）正答 3 会場変更に応じ計画を調整したので adjust。

（4）正答 2 古い地図が良好な状態だったことに驚いたので surprised。

（5）正答 3 オンライン公開には本人の許可が必要なので permission。

（6）正答 3 村同士を結んでいた道なので connected。

（7）正答 2 食品廃棄を減らすので reduce。

（8）正答 3 指示を理解できるようゆっくり話したので understand。

（9）正答 2 講習会を開催するので hold。

（10）正答 2 調査結果を分析して判断するので analyze。

（11）正答 2 展示会後にはなくなる作品なので temporary。

（12）正答 3 安全な通路へ誘導するので guide。

（13）正答 3 多くの住民に情報を届けるため reach。

（14）正答 1 予約手続きを効率的にするので efficient。

（15）正答 3 確認の重要性を強調しているので emphasizes。

（16）正答 1 清掃作業に適した服装なので appropriate。

（17）正答 2 収蔵品を後世まで保存するので preserve。

大問2 長文の語句空所補充

（18）正答 4 劣化している録音を保存し地域の声を残すのが目的。

（19）正答 1 同じ出来事を人によって違って記憶していたため複数の証言を残した。

（20）正答 3 歴史家はプライバシーへの配慮も同じくらい重要だと説明。

（21）正答 2 簡単な縫い直しによって、傷んだ衣服が再利用できる。

（22）正答 4 初心者が多かったことを理由として、個別指導用の机を設けた。

（23）正答 1 安全上の判断をしながら役立つ修理技術を広めることが目的。

大問3 長文の内容一致

（24）正答 4 春の昆虫と植物を観察する学習課題のため。

（25）正答 1 短い話し合いをし、持参した昼食をとりたいと述べる。

（26）正答 4 車いすを使う生徒が複数いるため。

（27）正答 4 形や位置など視覚情報を言葉にして伝えられる。

（28）正答 1 単に青いと言うより形や模様を詳しく説明すべきという例。

（29）正答 2 次の部屋という指示では部屋の境目が分からない。

（30）正答 4 本人が希望する支援を尋ねることが大切。

（31）正答 4 利用者が設計・試験に参加することで多様な人に役立つ。

長文の全訳

空所補充は正答を補った意味で訳しています。原文の省略を避け、段落ごとに訳しています。

大問2 A Voices from an Old Radio Studio

ある海辺の町には、漁師や音楽家、店主へのインタビューを放送していた小さなラジオ局があった。局が閉鎖されると、何十本もの録音番組が段ボール箱に入れられた。数年後、大学生のグループは、テープの多くが劣化し始めていることを発見した。普通の機器では再生できないものもあった。生徒たちは録音が消えてしまう前に地域の人々の声を保存したいと考え、地元の歴史家に助けを求めた。

プロジェクトはコンピューター作業から始まったわけではない。まず専門家がテープの状態を調べ、傷める恐れのある機器を清掃した。それから学生がデジタルコピーを作り、話者の氏名、日付、話題を書き留めた。いくつかのインタビューでは、年配の住民が同じ出来事を違った形で記憶していた。そのため、研究者は一つの歴史観に合わせて録音を変更せず、複数の証言を残した。見解が食い違う部分には短い注記を加えた。

資料をオンライン公開することは、新たな問題を生んだ。録音の中には、私生活を公開されることに同意していない人について語るものがあった。そのため学生たちは可能な範囲で話者や家族に連絡し、公開前に許可を得た。一部の録音は研究者にしか提供しなかった。歴史家は、音そのものを保存するのと同じくらい、関係者のプライバシーを尊重することが重要だと説明した。今では来館者が地元の声を聞ける一方、歴史研究にはプライバシーや正確さをめぐる責任ある判断が必要だと伝える資料館になっている。

大問2 B A Second Life for Old Clothes

毎年、布地がまだ丈夫でも、サイズが合わなくなった衣服を捨てる家庭は多い。ノースポートの青少年センターは、この無駄を減らしたいと考えた。不要な服を単に寄付してもらう代わりに、来館者が修理方法を学べる講習会を開いた。参加者は小さな破れのある上着、通学かばん、シャツなどを持参した。そして簡単な縫い直しによって、多くの物が再び使えるようになると知った。

最初は経験豊富な仕立て職人を招き、基礎的な技法を教えた。ボタンの付け直しや弱くなった縫い目の補強を学んだ。その後は学生ボランティアが、自分の服を直す前に安価な布で練習できるよう手伝った。針を使ったことがない参加者もいた。そのため運営者は初心者専用の机を設け、急かされずに個別の説明を受けたり質問したりできるようにした。

講習会は人気になったが、寄付された材料の回収と保管には予想以上の場所が必要だった。また、どんな傷んだ物も安全に修理できるわけではないと分かった。例えば古いヘルメットや一部の防護服は、大きな損傷の後には正常に機能しない可能性がある。そのためボランティアが修理する物としない物の明確な規則を導入した。この取り組みはどんな物も無理に残すためではない。住民が交換すべき時期を賢く判断できるよう手助けしながら、実用的な修理技術を広めることが本当の目的だと説明した。

大問3 A Eメール全文訳

差出人：ソフィア・マーティン 宛先：ジェームズ・ウォルシュ様 日付：3月6日 件名：川沿いの学習歩道の利用について

ウォルシュ様。私はエルム高校の科学部で野外活動を企画するソフィア・マーティンです。4月17日金曜日に、リバー・パークの学習歩道へ生徒を連れて行きたいと考えています。春の昆虫と植物の変化について調べる課題を準備しています。野生生物を妨げずに観察し、5月の学校展示会で成果を共有したいと思っています。

グループは生徒22人と教師2人です。朝10時に到着し、午後3時までに出発する予定です。ノートとカメラを持参しますが、植物や昆虫は採集しません。先生から、歩道には小さな野外教室があると聞きました。可能ならその場所で短い話し合いをし、持参した昼食を食べたいと考えています。ごみはすべて持ち帰る袋を用意できます。

学校団体は事前登録が必要か教えていただけますか。また、今春に修復作業のため閉鎖されている歩道があるか知りたいです。車いすを使う生徒が数人いるため、通りやすい道の情報が特に役立ちます。3月20日に移動計画を確定するので、それまでに返事をいただければ必要に応じて別の道を選ぶ時間があります。

ご助言とリバー・パークの保護活動に感謝いたします。敬具。ソフィア・マーティン。

大問3 B Making Museum Information Easier to Hear

博物館は伝統的に、展示品の横に置いた説明板で収蔵品を解説してきた。多くの来館者には便利だが、視力が弱い人には読みづらい場合がある。現在は録音した音声で展示を説明するガイドを提供する博物館もある。優れた音声ガイドは説明板の文字を読むだけではない。大きさ、形、位置まで説明し、聞く人がより明確に物を思い描けるようにする。

こうした説明を作るには慎重な選択が必要だ。細部が多すぎると大事な点を忘れてしまうかもしれない。短すぎると何が面白い品なのか分からない。例えば陶器の展示で、鉢を単に青色だと説明しても変わった形については分からない。片側がもう片方よりかなり高く、柔らかい粘土に小さな道具を押しつけて模様を作ったと説明したほうがよい。

安全に展示室を移動できるようにすることも課題だ。物を説明するガイドだけでは、どうやってたどり着くか分からない。ある市立博物館では視力の弱い来館者を招き、新しい道案内を試してもらった。初期の録音では、次の部屋で右へ曲がるように伝えるだけだった。しかし部屋の境目が分からないこともあると指摘された。そこで手すりの位置や床の材質が変わる場所など、分かりやすい目印を追加した。

自立性も重要な問題だ。職員に絶えず助けを求めずに見学したい人もいる。一方で会話をしながら案内してもらったり、特別に用意した複製品に触れたりすることを望む人もいる。そのため教育担当者は、ひとつのガイドが全員に合うと決めつけず、学び方を複数用意する。また来館者の希望を勝手に決めず、どんな手助けを求めるか尋ねるよう職員を訓練する。

音声ガイドだけで博物館が完全に利用しやすくなるわけではない。展示は入れ替わり録音は更新が必要で、建物の障害が残る場合もある。それでもよいガイドを作る過程で、異なる人々が同じ展示をど

のように経験するかを考えるようになる。来館者を設計と試験に参加させれば、より幅広い人に役立つ結果につながる。

大問4 英文要約・課題文全文訳

都市の中には、売れ残った食品を割引価格で購入したい住民と店を結ぶアプリを試しているところがある。飲食店やパン屋は閉店までに売れない見込みの商品を掲載し、利用者が予約する。目的は、時間内に売れなかっただけの食べられる食品が捨てられるのを防ぐことだ。

支持者によれば、客は出費を抑え、店は費用の一部を回収できる。食品廃棄の多さについて人々が考えるきっかけにもなる。また、アプリを使って見慣れない商品を新規客に紹介する店もある。

ただし、客は必ずしも受け取る品を細かく選べず、受取時間が不便なこともある。店は食品を安全に扱い、説明を正確にする必要もある。利用者の信頼を得るには、鮮度、受取方法、返金について明確な規則が必要となる。

ライティングの模範解答

大問4 英文要約

Food-sharing applications help shops sell unsold meals and baked goods at lower prices instead of throwing them away. Customers can save money, businesses recover some costs, and users may become more aware of food waste. However, customers have limited choices, collection may be inconvenient, and clear safety and refund rules are needed.

模範解答の日本語訳

食品共有アプリは、店が売れ残りの食事やパンを捨てずに安く販売するのに役立つ。客は節約でき、店は費用を一部回収でき、食品の廃棄にも関心が高まる可能性がある。ただし客が選べる品は限られ、受取は不便な場合があり、安全と返金の明確な規則が必要だ。

大問5 英作文

I think public libraries should remain open later on at least two evenings each week. First, students who have classes or part-time jobs during the day often need a quiet place to study. Longer hours would make the library more useful to them. Second, adults who finish work late could borrow books, use computers, or attend short educational programs. Of course, hiring staff for extra hours would cost money, so libraries could begin with a limited trial. If enough people used the service, the local government could consider continuing it permanently.

模範解答の日本語訳

公共図書館は少なくとも週に2日は夜遅くまで開くべきだと思う。第一に、昼間授業やアルバイトがある生徒は静かに勉強する場所が必要なことが多い。開館時間が長ければ便利になる。第二に、仕事を遅く終える大人も本を借りたり、パソコンを使ったり、短い講座に参加したりできる。もちろん追加の勤務には費用がかかるため、限定的な試験運用から始めればよい。十分な利用があれば自治体は恒久化を検討できる。

ライティングの模範解答は唯一の正答ではありません。内容、構成、語彙、文法を評価してください。